

中央実習センターの管理・運営業務の評価（案）の概要

1. 事業概要

事業内容：中央実習センターにおける厚生補導業務、点検等及び保守業務、清掃業務、施設警備業務、給食業務及びその他の運営業務

実施期間：平成23年4月1日から平成28年3月31日まで

応札者数：3者

2. 事業実施に関する評価

- 確保されるべき質として設定された以下の項目を全て達成している。
 - ・ 快適性の確保（施設利用者アンケートの満足度80%以上）
 - ・ 品質の保持（管理・運営業の不備に起因する中央学習センターにおける公共サービスの提供の中断、空調の停止、停電、断水、施設内での怪我の発生が全くないこと）
 - ・ 確保すべき水準（厚生補導業務、点検等保守業務、清掃業務、施設警備業務、給食業務、その他運営業務の適切な実施）

- 創意工夫に関しても、民間事業者からの改善提案による冬季の風邪やインフルエンザ予防のための教室内の衛生環境改善や実習棟内の配水管水漏れの際の迅速な対応など良好な業務が実施された。

3. 実施経費に関する評価

本事業の実施経費については、従来の実施経費（22,205千円：平成20年度）と比べて、2,381千円（10.7%）の経費が削減されている（単年度に換算し比較）。

4. 今後の事業

本事業は、実施状況は良好であるが、外部有識者等によるチェックを受ける仕組みの整備が未定であることから、引き続き次期事業においても、民間競争入札を実施することが適当であると考えられる。なお、次期事業の実施にあたっては、早期に外部有識者等によるチェック体制の整備を行うことが望まれる。

以上